

事務事業	12009	資源回収推進事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
計後 画期 体計 系画	施策	13	ごみの減量と資源再利用を進め環境にやさしい まちをつくる	予 算 科 目	会 計 1 4 2 1	一般会計 衛生費 清掃費 清掃総務費
	取り組み方針	390	地球温暖化防止と資源の有効利用を進める			
	法令根拠条例等			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		S62 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
ごみの減量化及び資源である古紙類の有効利用、並びに清掃思想の普及向上を図る目的で、集 団により定期的に資源回収を行う団体に回収量1kgに対して6円を奨励金として交付している。奨励 金の交付対象となる団体は、志免町の町内会・子供会・老人クラブ等の公共的団体で、登録申請に 基づいて町長が認めたもの。対象品目は、古紙(新聞・ダンボール・雑誌・チラシ)及び古布とする。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 資源回収に対する啓発事業、集団資源回収実施報告書の受領、資源回収団体へ実績に対し奨励 金支払		
主 な 事 業 費 の 内 訳		
		集団資源回収奨励補助金 5,338 千円
		千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 登録団体による資源回収実績に対して古紙 回収業者が発行した報告書の受領、報告書 の回収量に対しての奨励金の交付事務。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
		名称	単位	29年度	30年度	31年度
		ア 報告書受領回数(資源回収実施数)	回	877	804	900 (見込)
		イ				(見込)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町民、登録団体	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
		名称	単位	29年度	30年度	31年度
		ア 人口	人	45,757	46,016	46,087 (見込)
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態に したいのか) 資源回収を行い、ごみ減量・リサイクルの 推進を行う。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
		名称	単位	29年度	30年度	31年度
		ア 資源回収を実施した団体数	団体	目標 95 実績 95	95	95
		イ 実施団体率(参加した団体数/登録団 体数)	%	目標 63.0 実績 79.8	63.0	63.0
		ウ 古紙及び古布回収量	t	目標 1,593 実績 917	1,593	1,593
		エ		目標 実績		
		オ		目標 実績		

(2) 総事業費の推移

事業 費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	5,812	6,300	5,338	6,000	6,000	6,000	
		合計(A)	5,812	6,300	5,338	6,000	6,000	6,000	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)	992	1,357	1,240	1,235				
トータルコスト(A)+(B)		6,804	7,657	6,578	7,235	6,000	6,000		

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
ごみ減量を推進するために、昭和62年から開始した。	5年前と比べると、集団回収実施団体数は横ばい状態であることから、実施団体の集団資源回収に対する意識は根付いていると考えられる。しかし、人口が増加している反面、回収量が減少していることから、資源回収に参加している人数は減少していることが懸念される。また、回収量が減少している種類は、主に「新聞」「雑誌」であることから、近年のパソコンの普及等が要因とも考えられる。	資源回収日は、町内会や子供会、老人会などの登録団体が日にちを決めて行っている為、住民から、「実施日がわからない。」との問い合わせがある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	今後、資源回収に関する情報提供を行い、住民の方がより多く資源として回収できるようにする。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	ごみ減量及び資源としての再利用に大いに貢献できている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	資源回収の場を提供し、その情報提供を行うのは町の役割なので妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	今後、資源回収に関する情報提供を行い、住民の方がより多く資源として回収できるようにする。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	古紙類の大部分がごみとして排出される可能性があり、その量分、ごみ処理費用が増大する。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	対象者を志免町の町内会・子供会・老人クラブ等の公共的団体としており、行政は、資源を回収し、循環型社会を構築することを目的として奨励金を出しているため、受益者負担にはなじまない。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

昨年同様にリサイクル意識の向上、ごみの排出量の削減のため資源回収を実施する団体へ奨励金の交付をおこなった。また、集団資源回収への出し忘れや、家庭内に古紙類の保管スペースがないなどの理由により、燃やせるごみとして古紙類が排出されることを防ぐために、役場裏玄関前に古紙類専用のリサイクルボックスを設置している。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	今後、集団資源回収の団体に対し、実施に対する周知の依頼をし、住民の方がより多く資源として回収できるようにする。